

広報がもう

「このまちで、心豊かに住み続けたい」と

思える まちづくり



がまチヨコ

NEWS

1月号

2023年1月20日発行
No.190

蒲生地区まちづくり協議会 チョコットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者：東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所：東近江市市子川原町461・1 蒲生コミュニティセンター内 TEL / FAX : 0748-55-3030



竹田神社にて

2023年の夢を語り合う

蒲生地区新年互礼会開催される

蒲生地区まちづくり協議会は、1月5日に2023年の夢を語り合う、新年互礼会を蒲生コミュニティセンターで開催しました。

会場には、小椋正清東近江市長をはじめ、国会議員、地元選出県・市議会議員、行政関係者、地区内自治会長、JA滋賀蒲生町、商工会蒲生支部、学校・園代表者、各種団体代表者、蒲生地区まちづくり協議会関係者等、およそ90名の出席がありました。

年頭にあたり、まちづくり協議会西村会長は「今年も新年互礼会が開催できた喜び」を語り、その後、小椋市長より「蒲生地区の歴史と文化を大切にさらに磨きをかけ、今後へのつながりに期待したい」等と祝辞をいただきました。

続いて、昨年8月に滋賀県副知事として着任された、大杉住子氏より、『新春に想う』と題した講演をいただきました。「体験（ガリ版）を通じた学びの大切さ」や「地域の持ち味を課題解決

に生かす、古きものの良さをつなぐには、新しいツールを取り入れ、つながりを生かす新たな価値の創出」等、今後への期待を込めたお話しをいただきました。

会場には、応援塾のこだわりコーヒー、蒲生産「滋賀羽二重糯」と「大納言小豆」で作った赤飯、(旬)アグリ蒲生が自慢の無農薬、有機肥料で栽培したミニトマト等が振る舞われました。



【蒲生地区まちづくり協議会】

蒲生地区の更なる活性化への期待が大きく膨らんだ新年互礼会は、盛会裡に閉会となりました。



大杉副知事



大型(金属性)資源回収

12月10日(土)に、大型(金属性)資源回収を行いました。この事業は、平成22年から東近江市の委託を受け、12年目となります。今年も、軽トラックや乗用車で、不要となった自転車や農機具、鉄くず等が集まりました。搬入件数101件、約4.5トンの回収となりました。ご協力有り難うございました。



【蒲生地区まちづくり協議会】

「蒲生の未来を考えよう」発表会

12月8日、蒲生西小学校で地域学習を一層深めるため「蒲生の未来を考えよう」と題して6年生の発表会が開催されました。この発表会では、全6年生が12班、4教室に分かれて行われました。まちづくり協議会からも「蒲生の将来のまちづくり」の参考にさせていただくため、役員12名が参加しました。

発表内容では、お米、野菜を使った特産品開発、自然を生かした歴史観光システム、空き家リノベーション、道路のひび割れ対策など蒲生の特性を活かしたアイデアが次々と提案されました。

まちづくり協議会として、これらのアイデアを参考に、これからのまちづくりに繋げていきたいと思えます。



【蒲生地区まちづくり協議会】

自治会連合会・まちづくり協議会合同研修会

「これからの自治会運営・自治会まるごと支援メニューについて」

11月29日(火)蒲生地区自治会連合会と、まちづくり協議会による合同研修会を実施しました。

9月に開催を予定していました蒲生地区まちづくり協議会との合同研修につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑み中止いたしました。自治会活動を行う上でさまざまな課題を抱えておられる自治会、課題解決のために他の地域との事例を共有する機会も限られていることから、昨年度市で作成された「自治会まるごと支援メニュー」のDVDをもとに研修いただきました。

また、世界的に地球温暖化による様々な危機的な環境変化に対応するためCO2削減を通じた「持続可能な社会」の取組が叫ばれていますが、長峰自治会連合会が「しがCO2 ネットゼロまちづくり」の

みかんの収穫

2018年3月に植栽した、柿、みかんですが、このほどみかんの収穫を行いました。しかし、例年と違い収穫量は極端に少なくなりました。

みかんの木は夏の異常気象による水不足か、冬の寒さ対策の不十分さか、定かではありませんが、2022年の9月頃から元気がなくなり、約半数がその後枯れてしまいました。残った木でも果実をつけていないものも約半数あり、この先が心配です。詳しい方に伺うと、地域的にはみかん栽培の北限にあたり、栽培の難しさがあるとのこと。それと、やはりもっと収穫量を落とし樹木に栄養を行き渡らせ、木を大きく育てることが肝心とのことでした。

引き続き成長を促す取り組みを進めていきたいと思えます。



蒲生地区まちづくり協議会(地域活性化部会)

ぶらり 近江鉄道 シリーズ ガチャコンに乗って

(番外編)

映画「ガチャコン!」第二弾(3ページ参照)にエキストラとして参加。午後6時30分八日市駅集合という。寒さ厳しい中、まさかの路上ライブを見守る観客役。笑ったり、拍手したりとまだ動きがあったが、次はただずんで会話をするだけの通行人役。撮影はどんどん進むが、我々エキストラ10数名は口だけパクパク。動きはなく寒さがしみる。映画制作の厳しさの一端を垣間見た。



蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)

宣言されたことについて、取組内容や成果を太田会長から報告をいただきました。

出席者からは近年多くなっている外国人の転入について、ゴミ出しルールが守られていない現状やルールについて指導した結果、一定の効果のあった事例などの報告がありました。



【自治会連合会事務局】

映画の撮影クルーがやってきた

映画「ガチャコン！」第二弾の撮影が12月23日から28日に掛けて実施されました。

経営が厳しい近江鉄道を盛り上げようと立ち上がったプロジェクトで、2作目です。今回は、漫才師を目指す高校生の成長していく様を描いた青春コメディで、近江鉄道沿線各地で、多くのエキストラを巻き込んで撮影されています。蒲生地区では、25日に近江鉄道桜川駅と、がもう夢工房が運営するコガモカフェ（桜川西町）での撮影がありました。スタッフ、エキストラ合わせて約20名で、撮影は進みます。

コガモカフェでの撮影は、10名ほどの来店客の前に、漫才を披露する高校生コンビですが、来店客とのやりとりの方が面白いという流れのストーリーでした。

事前をお願いしたエキストラ、突然のセリフ割り当てに「エッ！」と戸惑いながらも村山監督の指示に合わせてみごとな演技を披露されていました。

映画の完成は3月頃とのこと、その後上映会も予定されています。できあがり非常に楽しみな映画となりました。ぜひ、ご覧になって下さい。



コガモカフェでの撮影



桜川駅での撮影

蒲生地区まちづくり協議会
(広報企画委員会)

コガモ市開催！！

(一社)がもう夢工房は12月4日(日)に2年振りとなる「コガモ市」を開催しました。出口の見えないコロナ禍ですが、人流の制限が緩和されている事もあり、感染拡大防止を万全にして開催したものです。

心配された当日の天候は、晴間こそなかったものの雨を心配することもなく、開店時刻と同時に大勢のお客様が来場くださいました。

会場では毎週日曜日に開催している野菜市はもちろん、JA滋賀蒲生町、柿の葉寿司本舗たなか、愛のまちエコ倶楽部、くらふとKOMONOにもご協力をいただき、大いに盛り上げていただきました。

また、屋台コーナーではがもう夢工房オリジナルの蒲生産五平餅「元気ぱっぱ」、焼きそば、たこ焼き、フルーツ等もできたてを販売しました。

250名の来場者に深く感謝申し上げますと共に、日曜日毎に開催しております日曜野菜市(マルシェ)にも、引き続きご来場賜りますようよろしくお願いいたします。



【(一社)がもう夢工房】

再発見

連載 がもうの話

蒲生地区まちづくり協議会
(万葉ロマンの里づくり部会)

115

勸請縄 (かんじょうなわ)

集落の道路や鎮守の参道に大きな縄を掛け渡すところがある。注連縄(しめなわ)と似ているが、小縄を吊り下げること、中心に飾り物を付ける点で、注連縄とは異なる。これを「勸請縄」、「勸請吊」と呼ぶところが多い。勸請縄は近畿地方の各地に見られ、西村泰郎氏の調査によれば、滋賀県内には約160ヶ所にあるという。蒲生地区では近年まで8ヶ所で行われていた。

勸請縄は正月に作られ、1年を通して吊り下げられている。垂れ下がる小縄は12本で、12ヶ月を意味する。その小縄には常緑の葉を差し込む。中心の飾り物は、木の蔓を編んだものが多いが、文字を書いた札=巻数板(かんじょういた)を付けるところもある。彦根市の松原内湖遺跡、賀田山

遺跡では鎌倉時代の巻数板が発掘されていて、勸請縄の行事はそのころからあったと考えられる。

下麻生町では、1966(昭和41)年までは山部神社の西側の道路に掛けられていた。蒲生大森町では現在も道の上に掛けられ、集落内の辻にも小縄と同じものが吊り下げられる。外から来た悪いもの(魔物)が、勸請縄の下を通ると除去されると言われている。



蒲生大森町の勸請縄



蒲生コミュニティセンター

529-1531 滋賀県東近江市市子川原町 461-1
☎0748-55-0207 IP050-5801-0207 FAX0748-55-3898

LINE 公式アカウント



友達募集中
ID@508qfqtn

教室・講座あんない

参加者募集中

第212回「音楽の散歩道」

日時：1月27日(金) 13:30~
会場：蒲生コミュニティセンター 小ホール
参加費：500円
内容：ブーケ・デ・ノートさんの木管アンサンブル
クラリネット・フルート・ピアノの演奏です
※事前の申し込みは要りません。
当日のお越しをお待ちしております。



(R4.11月の様子)



(R4.12月の様子)



蒲生わいわいサロン

日時：2月22日(水) 10時~11時30分
温かい飲み物を飲みながらちぎり絵を楽しみましょう♪(ちぎり絵セットを使います)
会場：蒲生コミュニティセンター 小ホール

◆◆第23回あかね年賀状展開催中◆◆

【場所】蒲生コミュニティセンターエントランス
【期間】1月15日(日)~31日(火)



(第22回の様子)

期間中、ぜひお越しください!!



【2月休館日…7日(火)・8日(水)】



詳しくはQRコードよりチラシをご覧ください

●申込・問い合わせ先 蒲生コミュニティセンター
(受付時間) 9:00~17:00 ☎0748-55-0207
IP050-5801-0207 FAX0748-55-3898

わいが屋@せせらぎで楽しいひと時を♪

2月の開催案内

2/16 (木) 13:30~15:00

『手染め布で花のオリジナル壁飾りを作ろう!』

場所
問合せ

東近江市社会福祉協議会 蒲生事務所せせらぎ
東近江市市子川原町 676-1
TEL 0748-55-4895 IP 050-5802-2528

【第2層協議体わいがや支え合い蒲生】

材料費必要
・申込み必要

蒲生子育て支援センター

子育て支援情報



《赤ちゃん広場》

1才未満の赤ちゃんとお母さん、妊婦さんが集う広場を開設しています。身長・体重の計測や日々の困りごとなどの相談にも応じていますので、お気軽にお越しください。感染症予防のため、検温と体調の確認をし、保護者の方はマスク着用でお越しくださるようお願いいたします。

日時：3月10日(金) 10:00~11:30

場所：蒲生支所3階(つどいの広場)

対象：1歳未満の赤ちゃん(兄妹の同伴可)

持ち物：バスタオル



問合せは…蒲生子育て支援センター

TEL0748-55-4889 IP050-5802-9361

しめ縄づくり教室

12月18日(日)蒲生コミュニティセンター小ホールで、毎年恒例のしめ縄づくり教室を開催しました。講師には、近江わら細工伝統工芸保存会から友實 富義さんにお越しいただきました。

友實さんが用意された香りのよいわらや稲穂は、様々な長さに切り揃えられ、すぐに編めるように少し湿らせてあり、きれいに束ねられてたくさん準備されていました。

参加されたみなさんは、わらを燃る基本の手の動きなど指導を受けながら、何度もコツをつかむまで編み直し、汗をかきながら集中し、きれいな燃りのかかったしめ縄をたくさん作り上げられました。

来る年の幸せを願いながら、世界に一つだけのしめ縄を飾り迎える新年、たくさんの福が訪れますように!

【蒲生コミュニティセンター】



蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。



がまチョコに皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

Email: gamomachiky@e-omi.ne.jp TEL/FAX: 0748-55-3030

←がまチョコのバックナンバーも見られます。

蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)

■蒲生地区の人口

(令和5年1月1日現在)

人口: 14,352人(+12)

男性: 7,149人(+8)

女性: 7,203人(+4)

世帯数: 5,539 (+15)

※()内は前月比